動物の形

「大地を駆ける生命」の展示室には、さまざまな哺乳類と鳥類が展示されています。動物の姿からその生活を想像し、地球の豊かさを実感してください。

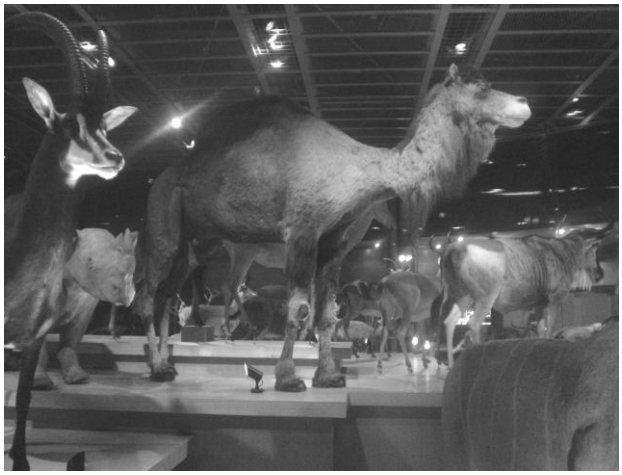


進化の頂点：野生大型獣

問題　展示番号１

（１）あなたがらくだと並んだら大きさはどれ位違うでしょうか。自分の大きさを下のラクダの絵に描いてみください。

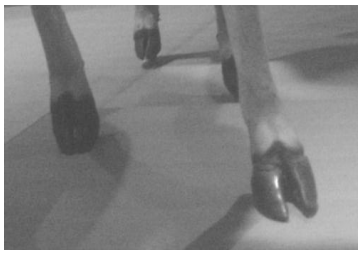
（２）ラクダのこぶには何が入っているでしょうか？ラクダの住んでいる場所から考えて、書いてください。



進化の頂点：野生大型獣

問題　展示番号１

３体の並んでいる剥製の足を比べています。どんな種類の動物でしょうか。種類と食べ物を書いてみましょう。





種類（　　）（　　）（　　）

食べ物（　　）（　　）（　　）

動物たちが生きるための知恵

問題　展示番号２

このコーナーで気に入った動物を見つけてスケッチしてください。角や牙、目の向き、足の指等に注意しながらスケッチしてください。その動物がどんな場所でどのような生活をしているか想像して、書いてください。

動物の名前

（　　）

体の特徴

（　　）

（　　）

生活の様子

サバンナの哺乳類

問題　展示番号３

サバンナのコーナーでは、肉食のライオンの近くに草食のヌーが展示されています。草食獣は肉食獣に食べられにくくするためにどんな工夫をしているでしょうか。２種類を比較しながら大画面のサバンナの様子を見て考えて、下表に書いてください。

	ライオン	ヌー
体の大きさ		
群れをつくるか		
体の模様		
その他		

われわれの隣人

問題　展示番号４

このコーナーには私たちも含まれる霊長類の剥製が並んでいます。体の大きさやつくりは随分異なっていますが、共通する点もあります。体のつくりを比較して、気がついたことを書いてください。共通する点については、その理由を考えてください。

	体のつくりを比較して、気がついたこと
目の向き	・ ・
手のつくり	・指が５本ある。 ・
尾の長さや太さ	

共通するポイント、その理由

絶滅の淵で

問題　展示番号５

（１）コーナーには比較的最近に絶滅したと考えられる種、絶滅が近いと考えられる種、絶滅をかろうじて免れた種が展示されています。これらの種から１種を選びドブネズミと比較してください。

	ドブネズミ	選んだ動物（　　）
体の大きさ		
食べ物		
子ども数や子どもを生む間隔		
人とのかかわり方		

ヒント:新館１階「地球の多様な生き物たち－５．自然を生き抜く工夫」も参考になります。

（２）もし、ニホンオオカミが日本の野山に生きているとしたらあなたはどのように考えますか。

剥製標本について

情報端末には、「大地を駆ける生命」に展示されている哺乳類の映像が納められています。さらに、国立科学博物館の近くには上野動物園があり、実際の動物たちの動きを見ることができます。博物館で展示されている剥製や骨格標本の中には、動物園で死んでしまった後、研究され、展示標本となったものもあります。動物園には、絶滅の恐れのある動物を繁殖させ、自然に還すという役割もあります。

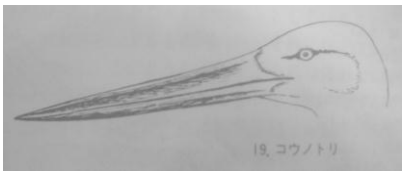
鳥の多様性

問題　展示番号６

現在の鳥には歯がありません。そのかわりに、くちばしが食べ物に応じて色々な形になっています。下のくちばしと食べ物を線で結んでください。また、くちばしと似ている人間の道具も線で結んでください。(ヒント:展示では剥製は食べ物ごとにまとめて展示されています)







●　●　●

●　●　●

ドジョウやタニシ　　ハトやウサギ　　植物の種

●　●　●

●　●　●





